

平成 28 年度第 1 回日本生理学会教育委員会議事録（案：委員会内のやや詳細版）

日 時 2016年3月21日 10時00分～12時00分
 会 場 札幌コンベンションセンター103会議室
 出席者 石松 秀（西九州大）、奥村 哲（静岡理工科大）、奥村 敏（鶴見大）、久野 みゆき（大阪市大）、鯉淵 典之（群馬大）、小山 なつ（滋賀医大）、椎橋 実智男（埼玉医大）、渋谷 まさと（女子栄養短大）、鈴木 敦子（健康科学大）、中島 昭（藤田保健衛生大）、深田 優子（生理研）、南沢 享（慈恵会医大）、渡邊 マキノ（順天堂大（認定委リエゾン）
 （以上50音順）
 欠席者 松田 哲也（玉川大）、山下 俊一（女子栄養大（編集広報委リエゾン）、編集広報委終了後数分間参加）
 議 長 鯉淵 典之 委員長 書 記 奥村 哲
 オブザーバー 皆川（学会事務局）

【報告事項】

1. 前回教育委員会議事録について（奥村哲委員、資料1）
 平成 27 年 10 月 25 日開催の平成 27 年第 3 回教育委員会議事録案が承認された。
2. 理事会への報告事項について（鯉淵委員長、資料1-2）
 配布資料に基づいて報告された。
3. 日生誌教育のページについて（久野委員、資料2）
 配布資料に基づいて2016年7月号までの予定について報告があった。自主投稿が年1稿程度ある。能美光雄先生（栄養、9月号）、生理学クイズ大会が推薦された。その上で、今後以下のテーマについて相応しい先生に依頼していくことが確認された。上田委員長よりEducationのページは 教育委員長の査読で進めることが依頼されている。
4. FAOPSバンコク大会教育シンポジウムについて（渋谷委員、資料3）
 資料に基づいて報告された。バンコク大会は大変盛況であり、日本大会にも多くの参加者がくることが予想される。今後、要望の多いワークショップ形式のセッションを前日などに検討する必要がある。
5. 認定委員会からの報告（中島生理学エデュケーター認定委員会委員長、資料無し）
 午後の理事会報告事項について報告された。
 57人名の認定があった。全員に認定証を発行し、HPに掲載した。札幌大会でEducator's caféについて試行する。規約については、今理事会に提出してHPに掲載する。

【討議事項】

1. 札幌大会教育プログラム（21日22日午前午後）について役割確認（石松委員、椎橋委員、鯉淵委員長 配布資料）
 受付、撮影の人員配置、カフェの対応を講演者の先生に御願いすること、控え室（102）で、受講証と配付資料の確認と準備すること、Education Caféの運営について、受講登録のための機材、スタッフ、控え室 などについて確認した。
2. 学生が運営する第1回生理学クイズ（岡山）について（石松委員、配布資料あり）

配付資料に基づいて、石松委員をクイズマスターとして実施することが説明され承認された。

3. 新委員の検討（鯉淵委員長）

女子医の三谷先生（線虫）、信州大（>東北医科薬科）の河合よしこ先生が推薦された。今後、歯学部、東北、中四国地方、看護、PCに強い先生を念頭に推薦を受け付ける

4. 教育プログラムの今後について（鯉淵委員長）

教育プログラムの外国人講師招聘費の予算化と

今後の演者の、リストアップの方法について自由討議を行った。

5. 今後の活動について（鯉淵委員長）

・「一步一步学ぶ生理学」との関わり方について（渋谷委員）

生命科学教育シェアリンググループは法人化を目指す。教育委員会はこれまで一步一步の内容の監修を行ってきたが、新たに作る法人と学会（教育委員会）の今後の協力関係のあり方について改めて討議した。その結果、今後も引き続き監修などで関わって行くことが確認された。

・FAOPS2019の教育サテライトと本大会のシンポジウムについて

日本語の教育講演についても4～5本用意することが要望されている。

教育サテライト、FAOPSワークショップ、プレナリーレクチャー（日本語同時通訳でポイント対象にする）を行う事を討議した。（前回議事録も参照してください。）

・医学教育認証評価、および新専門医制度への対応等について検討が必要であることが確認された。